

挑む いざ!



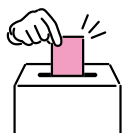
議会だより
笑顔のために

No.441
令和8年2月1日発行

目次 CONTENTS

- 01 表紙
- 02 目次
- 03 あなたにスポットライト！
みんなでビブリオトーク＆バトル実行委員会
- 04 11 月定例会の議決結果
17 件の議案について審議
- 06 特集
第 6 次富士宮市総合計画基本構想審査特別委員会
- 08 議会運営委員会／常任委員会
- 10 一般質問
16 人の議員が市政を問う
- 19 議長公務／2 月定例会の予定
- 20 議会だより編集委員おすすめ本！／編集後記

議会だよりの編集と発行は、議会だより編集委員会が行っています。
委員長…仲亀恭平
副委員長…村瀬旬
委員…近藤千鶴、平下尚己、
山藤陽子、稲葉晃司



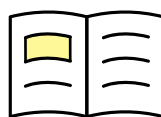
あなたの声をお待ちしています

議会での質疑や議会だよりの内容等について、ご意見お待ちしております。



議会をネットでみよう

本会議のインターネット映像（ライブ・録画）を配信しています。



議会だより電子版

富士宮市ホームページから、議会だより電子版（PDF版）を見ることができます。



LINE 友だち追加

市公式 LINE にて、議会に関する情報を発信しています。





みんなでビブリオトーク&バトル実行委員会

～大人も子ども、自分の「好き」を
全力でぶつける！全力でつながる！それがビブリオバトル！～

第四回目は、富士宮市立図書館で活動されているみんなでビブリオトーク
&バトル実行委員会の皆さんの活動や取組について紹介します。

ビブリオバトルって何ですか？

高瀬氏 「僕はこの本が好きなんだ」「私はこの本を薦めたい」と思う本を参加者（バトル）が持ち寄り5分間で紹介し、質疑応答を行った後に投票して一番読みたい本（チャンプ本）を決定する。といった取組になります。ビブリオバトル公式ルールでは発表後のディスカッションは2～3分間となっていますが私たちは対話を引き出すために8分程度にしているのが特徴です。こどもから大人まで年齢層の違う人たちがイブニングなルールの中でトークバトルをしています。



▲会長 中澤 進さん
逢坂冬馬『同志少女よ、敵を撃て』



▲高瀬 一樹さん
広田照幸『学校はなぜ退屈でなぜ大切なのか』

対話をつくるための工夫とは？

高瀬氏 発表者は6名、それぞれの色の付箋を用意して、参加者に感想を記入してもらい画用紙に貼っていきま。質疑応答の際にわざわざ発表するまでもないちょっとした眩きも拾うことができます。

中澤氏 この本に興味を持った人が感想の周りに集まって自分はこの本に対してこう思ったけれどこんな思いもあるんだと皆でワイワイと語り合います。本の数だけ輪ができる様子をカッコいいなあと思って見えています。



▲みんなでビブリオトーク&バトル実行委員会の皆さん

望月氏 発表者にこの感想を書いた付箋をお渡ししてビブリオバトルに参加した思い出にいただいています。



高瀬氏 オンライン質問共有ツールを活用してスマホから書き込んでもらい司会進行の方から質問してもらうなど、みんなの前で質問するのがちょっと恥ずかしいと思う人でも匿名で質問できるように工夫しています。

苦労したところはありますか？

高瀬氏 大人の参加者が少ない点です。コンセプト的に参加者の年齢層はばらけさせたいのですが、小学生、中学生、高校生の参加者が多い傾向にあります。

発表する本はどんな本でもいいのですか？

高瀬氏 はい、どんな本でもいいです。私は数学の問題集で発表したことがあります。辞書でも国語辞典でも電話帳でも5分間で魅力を紹介できる本なら何でもよいです。新約聖書で発表したケースもあると聞きます。

対話のある開かれた図書館を！

中澤氏 きっかけは、図書館に市民の声を反映させるよう設置された図書館協議会で、市民の求める図書館像を「対話のある開かれた図書館」とまとめたことです。その具体的な活動の一つとしてビブリオバトルを考えました。実行委員は8名、3回の会議を経て本番を迎えます。本年度は2026年2月15日に開催を予定しています。

（文責：山藤陽子、稲葉晃司）



▲望月 有子さん
柚木麻子『BUTTER』

11月定例会の議決結果

11月定例会 議案審議

議案番号	件 名	議決結果
報 第 23 号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告について	報 告 済
議 第 68 号	富士宮市下水道条例及び富士宮市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決 全 会 一 致
議 第 69 号	富士宮市議会議員及び富士宮市長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部を改正する条例制定について	//
議 第 70 号	共立蒲原総合病院組合規約の変更について	//
議 第 71 号	富士宮市総合福祉会館本館長寿命化工事（建築工事）請負契約の変更について	//
議 第 72 号	富士宮市立西小学校管理特別教室棟・普通教室棟長寿命化工事（建築工事）請負契約の変更について	//
議 第 73 号	富士宮市民文化会館リニューアル工事（電気設備工事）請負契約の変更について	//
議 第 74 号	富士宮市民文化会館リニューアル工事（機械設備工事）請負契約の変更について	//
議 第 75 号	第6次富士宮市総合計画基本構想の策定について	//
議 第 76 号	令和7年度富士宮市一般会計補正予算（第4号）	原 案 可 決 賛 成 多 数
議 第 77 号	令和7年度富士宮市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原 案 可 決 全 会 一 致
議 第 78 号	令和7年度富士宮市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	//
議 第 79 号	令和7年度富士宮市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	//
議 第 80 号	令和7年度富士宮市水道事業会計補正予算（第2号）	//
議 第 81 号	令和7年度富士宮市下水道事業会計補正予算（第1号）	//
議 第 82 号	令和7年度富士宮市病院事業会計補正予算（第1号）	//
陳 情 第 2 号	富士宮南原太陽光発電所新設事業の中止と撤退及び富士宮市内の太陽光発電事業に関する陳情書	不 採 択

※報＝市からの報告、議＝条例・予算・契約などの議案、陳情＝陳情 の略。

※議案番号は、令和7年2月定例会からの通し番号。

※詳しくは市議会事務局（電話22-1191）までお問い合わせください。

【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議員名 (議席番号順)	近藤 千鶴	佐野 和彦	仲 嶋 恭平	平下 尚己	赤池 弘源	中野健太郎	齋藤 和文	山藤 陽子	稲葉 晃司	白井由紀子	岩村 恵美	小松 快造	辻村 岳瑠	芦澤 秀典	佐野 寿夫	望月 芳将	渡辺 佳正	鈴木 弘	植松 健一	村瀬 旬	諏訪部孝敏	佐野 和也
議案・結果	議第76号 令和7年度富士宮市一般会計補正予算（第4号）	×	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	×	○	○	○	○	○

※ 議長…議長は表決に加わりません。ただし、賛成、反対が同数の時は議長が決定します。



陳情第2号 富士宮南原太陽光発電所新設事業の中止と撤退及び富士宮市内の太陽光発電事業に関する陳情書

陳情は不採択

【陳情内容の概略】ポイントは、大きく分けて2つ。

- ・事業者と自治会の間で締結された協定書の撤廃や、行政手続きの差し戻し。
- ・抑制区域を拡大するための条例や要綱改正、パネル放置対策の提案審議や継続的な調査。

環境厚生委員会

今回、陳情の審査を担当したのは、環境厚生委員会です。

まず、陳情者から陳情内容の趣旨説明があり、陳情者は都合により退席しました。

当局からの意見として、これまで行ってきた太陽光発電事業に対する政策的な取組及び、南原太陽光発電事業所新設事業の行政手続の状況について説明を受けました。

本来、地域との協定書の締結は必要ないが、それを丁寧に結んでいることや、許認可手続を適切に行っていることから、出席委員全員が不採択とすべきと判断しました。

しかし、太陽光発電事業に様々な問題があることも事実であることから、国に対して意見書等を提出していくことが、議会としてできることではないかという意見がありました。

不採択

賛成1人 反対19人

賛成討論 近藤 千鶴 議員



地域との同意形成が不十分、雨水処理の変更による不安、事業者倒産時の責任の所在も不透明です。4万筆超のオンライン署名は、富士山の美しい風景と清らかな水の保全を願う全国からの願いと受け止めるべきです。市民の声を丁寧に受け止め、慎重な姿勢を示す事が求められています。

反対討論 辻村 岳瑠 議員



本陳情は社会の決まりを守り行う事業に対して中止を求めるものです。議会がどのような権限で社会のルールを守った事業に反対できるのでしょうか。もしそのような判断をするならば多くの市民に説明できない状況になるのではないのでしょうか。よって本陳情には反対せざるを得ません。

反対討論 稲葉 晃司 議員



本陳情の事業者はコンプライアンスに抵触しておらず、地域住民に配慮なく勝手に事業を進めているわけでもないことから採択することは難しい。議会として、国に太陽光パネルの適切な廃棄についての意見書を提出していくべき。議会としてもこの事業を注視していかなければならない。

【賛否が分かれた議案】

○は賛成。×は反対。

議員名 (議席番号順)	近藤 千鶴	佐野 和彦	仲尾 恭平	平下 尚己	赤池 弘源	中野健 太郎	齋藤 和文	山藤 陽子	稲葉 晃司	白井由 紀子	岩村 恵美	小松 快造	辻村 岳瑠	芦澤 秀典	佐野 寿夫	望月 芳将	渡辺 佳正	鈴木 弘	植松 健一	村瀬 旬	諏訪部 孝敏	佐野 和也	賛 成	反 対	議決 結果
議案・結果	○	※	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	欠 席	×	×	×	×	×	1	19	不 採 択

※ 議長…議長は表決に加わりません。ただし、賛成、反対が同数の時は議長が決定します。

市議会議員22人の考え

富士宮市が富士山の資源を活かし、2032年に向けて持続可能な街を目指すべく策定した「第6次富士宮市総合計画基本構想」。これに対し、市議会議員22人の考えをききました！



第6次富士宮市総合計画の策定状況



近藤 千鶴

将来都市像

「幸せ」も大事だが、「挑戦」・「変化」等の将来へ期待する表現でもよかったのでは。



佐野 和彦

人口減少社会の施策拡充、各行政区の課題解決、産業構造の変化に対応できる富士宮の創造に期待。



仲亀 恭平

若者支援は一人ひとりに合わせて。生活の不安を取り除き、富士宮に住みたい人を増やそう。



平下 尚己

「する」スポーツだけでなく、「みる」「ささえる」スポーツ環境を整えていくことが示された。



赤池 弘源

みなさんと進める将来設計図！お互いを理解し支え合うまちづくりを進めていきたいと思う。



中野健太郎

人口減少の中、将来に向け何をすべきか逆算手法を用いたことは評価する。危機感持ち政策推進を。



齋藤 和文

U・I・Jターナー者就業支援事業を継続と、大学生への直接関与の具体的施策が最も必要と考えている。



山藤 陽子

幸福、笑顔、安心の輪を未来へつなげる。人に寄り添い、声を聴き、声が届く富士宮市に期待する。



稲葉 晃司

時代の流れが速い中で総合計画が10年1スパンで作られていくことに疑問を感じる。



臼井由紀子

人口減少を前提に子育て・教育・仕事・くらしを総合強化する持続可能なまちづくりを進めている。

特集 第6次富士宮市総合計画基本構想審査特別委員会



岩村 恵美

富士宮独自の魅力活かした具体的未来像と市民が実感できる施策展開、またその実効性を期待する。



小松 快造

10年先までの市政をつかさどる大木の幹、どのような枝葉をつけるのか、舵取りする方はぶれずに。



辻村 岳瑠

14の集落拠点の評価する。市街地と調整区域の両輪発展を示し、学校を含む拠点設定も妥当である。



芦澤 秀典

富士宮市の特色を活かした方針を掲げ、教育と福祉の支援強化に加え環境への配慮が示されている。



佐野 寿夫

市民協働で少子高齢化・人口減少に負けない持続可能なまちをつくっていくための総合計画。



望月 芳将

富士宮市の将来推計人口に交流人口や関係人口を加味し、まちづくりをしては！



渡辺 佳正

10年後以降も見据えて社会・経済・環境の激動に応じた計画実施・見直しが求められると思う。



鈴木 弘

幸福実感を重視するウェルビーイングという視点が取り入れられたことはとても良かったと思う。



植松 健一

人口減少社会のなか、いかに地域や産業、インフラを持続可能なものにしていくかがポイント。



村瀬 旬

企業誘致・留置の推進を行う事で市の税収の増加及び雇用の拡大、市のイメージアップにつながる。



諏訪部孝敏

持続可能な未来へ、市民協働で魅力ある富士宮市の将来都市像を見据えた計画となっていると思う。



佐野 和也

20年後30年後を見据えた計画でなければ、第6次総合計画の10年間は無意味になってしまう。

議会運営委員会

佐野 和也 委員長 コメント

議会運営委員会では、11月定例会の運営について協議するため委員会を開催し、議案の概要と議事日程及び会期についてを協議いたしました。また、一般質問通告及び2月定例会の会期予定についてを協議いたしました。

今後の活動としましては、多様性のある開かれた議会を目指し議会改革を推進する組織づくりを行うため、先進地への視察を予定しています。



総務文教委員会

渡辺 佳正 委員長 コメント

所管事務調査では、障害のあるこどもの自立・社会参加に向けた特別支援教育の全体像を共通認識して、現状を改善するために何が提言できるのかを学ぶ良い機会となりました。政策課題では、市が来年度策定する「小中学校規模の適正化基本計画」への政策提言をまとめる段階に入ってきました。市内小学校複式学級や先進地の視察などを通じて、少子化・人口減少の中でこどもの教育環境の充実を最優先に、地域拠点づくりをどう進めるのかなど、総合的な観点から提言していきます。



▲富士宮市立内房小学校
(2学年一緒の複式学級)



▲小中一貫校の守口市立さつき学園

環境厚生委員会

佐野 寿夫 委員長 コメント

11月26日に富士宮南原太陽光発電所新設事業の中止と撤退及び富士宮市内の太陽光発電事業に関する陳情書を審査しました。議論の内容については、議決結果のページをご参照ください。

政策課題「富士宮市立病院の既存施設を生かした医療サービスの充実について」は、富士宮市立病院の現状及び課題調査と他県の医療機関を含めた視察調査を重ねています。

2月定例会には、国に「自治体病院の運営危機に対する意見書」を作成し提出していく予定です。



産業都市委員会

小松 快造 委員長 コメント

政策課題「地域防災力の向上に向けた取組について」の現地調査を行いました。

風祭上流遊砂地では、土砂災害防止対策として富士砂防事務所により堰堤が建設中で、早期完成が望まれます。大沢川遊砂地では、土砂除去作業を調査し、終わりが見えない作業となるのではないかと考えられました。土砂災害警戒区域の北山地区急傾斜地では、民家近くの杉林に水路があり、風雨時に枝葉が詰まり溢れ出て非常に危険な状態でしたので、管轄する県との早急な協議の必要性を感じました。



▲大沢川遊砂地



▲風祭上流遊砂地

11月定例会の一般質問用語解説

一般質問（11～18ページ）で赤表記した用語を解説します

1 AI →p 12、17

「Artificial Intelligence：アーティフィシャル・インテリジェンス（人工知能）」の略。

コンピューターに人間のような知的活動をさせる技術。

2 ICT →p 12

「Information and Communication Technology：インフォメーション・アンド・コミュニケーション・テクノロジー」の略。

日本語で「情報通信技術」を意味する。

通信技術を活用して人と人、あるいは人とモノをつなぎ、情報を共有したり役立てたりする技術。

3 バーチャルスクール →p 12

インターネット上に構築された「デジタルの学校」。

ネット上で授業を受けたり、先生や友だちと話をしたりすることができる。学校に行きたくても行けない事情があるこどもたちに、自宅にしながら学べる新しい居場所や学習の場を提供する仕組み。

4 レプリカ →p 13

模造品、複製品、写し。

5 ヴィラタイプ →p 14

一棟貸しの客室で、子連れの家族や、大人数のグループの利用に適している。

6 リテラシー →p 15、16

情報を適切に理解し活用していくこと。

7 ウェルビーイング →p 15

個人や社会の良い状態という意味。well（よい）＋being（状態）。

8 ハイブリッド型講座 →p 16

対面（教室や会場）での授業をオンライン（Zoom など）での授業と組み合わせて行う講座。

9 DX →p 16、17

「Digital Transformation：デジタル・トランスフォーメーション」の略。

デジタル技術で人々の生活をより良いものに変えるという意味。

英語圏の慣習により「Transformation」を「X」と略す。

10 デジタルディバイド →p 16

情報通信技術を利用できる人と出来ない人の間に生じる情報格差。

11 SAS（睡眠時無呼吸症候群） →p 17

「Sleep Apnea Syndrome：スリープ・アプnea・シンドローム（睡眠時無呼吸症候群）」の略。

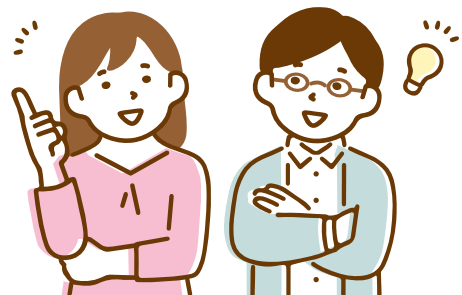
睡眠中に無呼吸状態が繰り返される病気。上気道に空気が通る十分なスペースがなくなることなどが原因。

12 ペーパーレス →p 17

紙の書類や帳票を電子データに置き換え、デジタルで管理・活用すること。

13 セカンドブック →p 17

赤ちゃんに絵本をプレゼントする事業をブックスタート。3歳児検診などの機会に本をプレゼントすることをセカンドブック。





さ の とし お
佐野 寿夫
(公明会)

環境
都市整備
保健福祉

クマ出没の現状と市民の安全対策について

問 クマ出没の現状と不安を減らす対応は。

部長 クマ出没は昨年と比較し開きはないが、内房地区などの人の日常生活圏への出没が頻発した点が、例年とは異なる特徴である。広報車や消防本部、消防団の協力を得て巡回を行った。また、猟友会の協力を得て箱わなを設置した。



問 箱わなとハンターの現状は。

部長 箱わなは市に1基と、借用が1基、交付金を活用し追加で2基購入する。富士宮猟友会と西富士山麓猟友会があり、会員数は2つの猟

友会を合わせて約150人である。

問 小中学校の危機管理マニュアルは。

教育長 内房小学校で新たに作成したクマ出没時等における対応マニュアルを、市内の小中学校が参考にできるように共有している。

水久保池周辺の現状と対応について

問 土砂や落ち葉で埋もれた側溝への対応は。

部長 優先順位をつけて対応する。

相談支援セルフプランの利用状況について

問 静岡県下でのセルフプラン利用率は。

部長 令和6年度は18歳以上が3番目に、18歳未満が11番目に高い状況である。

問 本市としての評価は。

部長 本市としては、セルフプランの提出も可能としながら、相談支援専門員によるサービス等利用計画の作成を基本とするため、専門員を増やすための支援策を検討している。

セルフプランとは

障害福祉サービスの利用計画を利用者本人やその家族が作成すること。



う え ま つ けん い ち
植松 健一
(至誠)

教 育

クマ対策について

問 内房小学校で現在行っている対策及び、今後の市内各小中学校における対策の必要性について。



部長 クマ出没時等における対応マニュアルを作成し、それに基づき対応を行っている。目撃情報が学校周辺で確認された場合は、保護者による登下校時の車での送迎、校舎1階の施錠の徹底、体育の授業や休み時間におけるグラウンド使用の自粛を行っている。状況に応じて、複数の教職員による見守りを行いながら、体育館への移動、グラウンドでの体育の授業や休み時間の外遊びを実施するなど、臨機応変に対応している。また、市内各小中学校においても、内房小学校と同様にクマ対策を進めている。具体的には、クマの目撃情報があつた際には、本市

教育委員会より早急に学区内の小中学校へは電話で、その他小中学校にはメールで連絡が入る。その情報に基づいて、こどもたちが安全に登下校できるよう保護者にメール配信を行ったり、休み時間の過ごし方や部活動を安全に実施するための対応を取っていく。

小中学校PTAについて

問 日本PTA全国協議会は

PTAを社会教育団体であると自認している。社会教育の場、生涯学習の場としての活動をもっとお願いしてはどうか。

教育長 今までは学校をサポートするという立場が前面に出ていたが、社会教育を推進する役割を担うということで、やはり保護者同士の学び合いとか地域での活動、こどもの健全な成長を支援する活動などが今後PTAとしての存在意義としてより一層濃くなると思うので、ぜひ学校教育、社会教育にも御協力いただければと思っている。





なかがめ けんじ
仲亀 恭平
(つなぐ)

教 育
保健福祉

クラスに1～2人の現実… 不登校児童への支援体制を伺う



問 現状を伺う。

教育長 約26人に1人が不登校の状態。(R6)

【不登校生徒数】	不登校	発生率	※答弁を基に作成
小学校	165人	2.7%	
中学校	202人	6.0%	
合計	367人	3.9%	

【相談件数】

相談は全体で2,373件。

青少年相談センターでは639件。

(電話・メール：401件／来所面接：238件)

問 AI^{*1} 悩み相談は有効か？

教育長 AIチャットボット等の利点はある。

■匿名性の確保による心理的な負担の軽減。

■教職員の業務負担の軽減。

問 多様な相談窓口とAI・ICT^{*2}の活用状況。

教育長 仮想空間を活用した学びの場を提供。

■バーチャルスクール^{*3}：市内から10人ほどが登録し、出席扱いが認められるケースもある。

バーチャルスクールも出席扱い

■相談アプリ「リーバー」：児童生徒が1人1台端末を通じ、心の健康観察を行える仕組み。

問 保護者同士が悩みを共有する「懇談会」が必要だと考える。

部長 保護者支援団体情報を「一覧表」にまとめ、教育委員会と共有する取組を進めている。

教育長 保護者が適切な相談チャンネルにつながれるよう支援していく。

問 不登校から「ひきこもり」といった福祉課題へ繋がるのではないかと懸念をしている。

部長 不登校が派生して問題が拡大していくリスクは認識している。保健福祉と教育部門の連携を構築するため「こども・若者支援推進本部」を組織した。年3～4回会議開催。



総合教育会議
「議事録」



つじむら たけろ
辻村 岳瑠
(明和)

環 境
保健福祉

クマの危険性を見極め、地域活動を止めない道を示す

問 以前の議会答弁では、クマとの共存という考えを示していたが、現状を状況を踏まえて、考え方に変化はあるか。

部長 共存が一番理想的であるが、人命に危険が及ぶ恐れがある現状から、駆除を優先すべきと考えている。

問 局面は変わった。法改正により、緊急銃猟の従事にかかわる猟友会、職員の安全性、体制づくりはどうか。

部長 緊急銃猟マニュアルの作成、訓練を実施した。滞りなく対応できるよう訓練を重ねる。

意見 いち早い地域住民の不安解消や地域活動の維持、猟友会の皆様への配慮を引き続きお願いする。

子ども会助成金の見直しについて

問 現行の「30人以上」では申請が困難である。地域の実情に応じて、より柔軟な制度への再検討をお願いする。

また、「子ども会」と「寄り合い処」異なる拠点をつなぐ福祉施策について見解を伺う。

市長 子ども会へは、市としてもよく相談し、補助金を出し活性化できるように前向きに進めていきたい。



寄り合い処は、誰もが気軽に参加できる場所であり、それが子ども会の拠点であっても良い。こどもたちが学校帰りに寄り合い処に寄ること、こどもは学び、お年寄りに癒しが生まれる。寄り合い処の助成金を増やしていくことも検討している。こどもと一緒に楽しむ寄り合い処として、そうした企画にできれば非常に良いと思っている。

部長 寄り合い処は、従来介護保険の財源であったが、強化していく部分については、市の一般財源を充てて取り組む。



こんどう ちづる
近藤 千鶴
(無会派)

教 育

(仮称) 富士宮市立郷土史博物館基本計画 策定委員会の検討内容について

問 国宝・重要文化財の公開は、高度な設備と維持費・専門体制が必要、基本構想ではそのような記載がなかったがなぜか。

部長 富士宮市は、絹本著色富士曼荼羅図や刀剣や脇差しが直接見られない。市民には本物を見てもらう事が必要。策定委員会と検討し、国宝・重要文化財が展示できる施設を目指したい。

市長 超一流の国宝級の物をどんどん展示することは毛頭考えていない。

問 策定委員会の中では、重要文化財を扱うとうたわれている。部長もそういつているが。

市長 絹本著色富士曼荼羅図は複製・**レプリカ**^{※4}で十分。レプリカもそっくりだから。

意見 市長の言葉とは思えない。そんな中途半

端な気持ちでは何のために博物館を建てるか分からない。今まで本物を見せたいから博物館を建設したいと言っていたのにレプリカでいいというのは市長の問題発言ではないか。

問 駐車場が足りなくなる。代替案はあるか。

部長 調査した結果、令和6年度は一日平均37台、正月とお祭りの時だけ満杯になる。

問 イベントが重なった時に駐車場が無くなってしまった経験が1度や2度でない。

町屋型宿泊施設も建設予定だが、駐車場が本当に足りないと思うがいかがか。

市長 きらら駐車場は、最初は3台だったが、すぐ所有者と交渉し105台までにした。大事な土地だから駐車場なんかにしておけない。「きらら」でもそんなに使っていない。商店街はそれぞれが駐車場を用意なくてはいけない。あれだけの一等地を商店街だけが使うのではなくて市民全体が使えるようにしたい。



あかいけ ひろもと
赤池 弘源
(明和)

財 政
保 健 福 祉
病 院

都市計画税は市民の未来を描けているか？

問 都市計画税は都市計画事業にどの程度充てられているのか、市として都市計画税の使途を地域別に整理し、“見える化”する取組について伺う。



部長 市民へのより分かりやすい情報提供の必要性は十分に認識しているので、引き続きホームページにおける都市計画税の掲載内容の充実にも努め、可能な範囲で見える化できる手法を研究していく。

“生んでよし”のまちを、実感できるまちへ

問 市民が「富士宮で生み育てたい」と思える環境づくりに向けて、今後どのような改善策を検討しているか。

部長 妊産婦の中には、「市立病院は医療が必要な妊婦が出産する病院だと思っていた」、「通常の妊婦も市立病院で出産できるなんて知らなかった」といった声もあったため市立病院での出産に対する正しい情報、メリットなどの周知について努めていく。

病院長 トイレや浴室の整備、及びママランチのサービスなどを充実させながら増やしていくことに取り組んでいる。

今年度からSNS

を活用してインスタ等でいろんな情報発信をすることを、病院として取り組んでいる。市民の皆さんに当院

が普通分娩でも快適で、ほかよりは安価で出産できることを発信して、妊婦の利用を増やしていきたい。





もちづき よしまさ
望月 芳将
(つなぐ)

市 民
企 画

特定健診の受診率向上に向けては

問 受診率をどう分析しているのか。

部長 令和6年度は受診率36.1%で県内28位下位。国民健康保険加入者は70歳から74歳までが44.5%、60代は39.4%、50代は23.2%、40代は17.4%。年代が下がると受診率が低くなっていく傾向である。後期高齢者医療保険加入者は、75歳から79歳は40.4%、80歳から84歳は37.5%、85歳以上で22.5%、こちらは年代が上がると受診率が低くなる傾向である。



問 受診率向上に向けて、若年世代と高齢世代と分けて対策を講じるべきと思うがどうか。

部長 月一回開催の休日健診を進める。高齢世

代は、通院されている方が多く、その際に受診していただくよう勧める。

副市長 若い世代には刺さる言葉がPRに必要。移動手段では、集団健診に宮タクに乗り合いで推奨してみることも検討してみたい。

ホテル誘致の進展は

問 道の駅朝霧高原周辺のホテル誘致の進捗状況は。

部長 環境省と自然公園法の調整は済んでいる。今後のスケジュールは公表されていない。建設費用の高騰と、北陸の震災で国内12カ所の同時計画に遅れが出ている。

問 中心市街地のホテル誘致はどうか。

部長 富士宮駅北口前に**ヴィラタイプ**^{*5}の体験型観光拠点となる宿泊施設の誘致が、民間事業として行われる。

市長 西町周辺の発展として、宮町の静岡銀行が移転した跡地に市としてホテルを誘致したいと思っている。実現すれば富士宮市は変わっていくと思う。



こまつ かいぞう
小松 快造
(つなぐ)

産業振興

持続可能な農業への取組について

問 ①大規模化により増収をするためには圃場整備が必要と考えるが当局はどのように考えるか伺う。

②遊休農地（耕作放棄地）を借り受けて営農する場合、必要な手続きについて伺う。

③6次産業化の推進も必要と考えるがいかがか。



部長 ①当市の農地は、区画の狭小、不整形、耕作者が分散した農地が多く、農業者の減少などにより遊休化する農地が散見されている。市としても農地を成形し大規模化を図ることで、生産者の増収につながることは認識している。しかし、圃場整備事業には莫大な費用を要する。一般的に受益者がその費用を負担しなければならない。受益者が負担し

ない場合、当該事業を要望する際に、事業完了後5年以内に販売額を20%以上向上させるなど様々な採択要件が課される場合もある。

②農地借受け条件は、農地法3条の規定による許可申請書、営農計画書、公図など書類提出が必要となる。意欲的な農業者の経営発展を支援する荒廃農地再生集積促進事業を実施している。この事業は、農業振興地域の農用地区域いわゆる青地農地であり、所有権の移転または農地中間管理事業によって権利移転した農地において、事業実施後5年以上耕作することが必要要件となる。

③6次産業化のメリットは、経営の安定や地域への貢献の実現に向け重要な施策である。市では特産品開発・付加価値向上等推進事業補助金の対象になる場合もあるので相談をいただきたい。

6次産業化：農業者が、農産物の生産だけでなく、加工、販売までを取り組み、付加価値を高めること。



あしざわ ひでのり
芦澤 秀典
(明和)

教 育
企 画

富士宮市における中学校通級指導教室の設置について

問 現状の支援体制について。

教育長 中学校では一人一人の実態を踏まえ、家庭と連携しながら必要な声かけ支援を行い、安心して過ごすことができる環境づくりに努めている。

問 中学校に通級指導教室を設置する場合、どのような課題があるのか。

教育長 中学校に通級指導教室を設置する場合、幾つかの課題があると考えており、まずは、人員と専門性の確保がある。現在、通常学級や特別支援学級の教員数の確保が難しい状況にあり、その中で通級指導教室の追加人員を確保すること



は非常に大きな課題である。

上井出の旧国立病院機構静岡富士病院跡地の造成工事状況について

問 工事の進捗状況について。

部長 解体工事の完了予定は、令和8年3月末となっている。

問 造成後の土地利用について。

部長 解体工事後の土地利用については、まだ正式な事業内容は決定していない。

問 地域への影響や生活環境への配慮について。

部長 解体工事については、音の出にくい方式で工事を実施。工事に関して今後地域への影響が出た場合、騒音に関しては市の生活環境課、渋滞等の交通量に関しては富士宮警察署が窓口となる。



さいとう かずふみ
齋藤 和文
(公明会)

教 育
保 健 福 祉

こどもから大人までの金融教育について

問 金融教育が必修化されたが小学生・中学生の学びの場はあるのか。専門家が学校で教えることは可能か。

部長 金融教育は社会変化に対応し自立した生活を送るために必要な力を育むものである。高校では必修化、小中では学習指導要領に基づき年齢に応じた学習を行っている。要領に沿った内容であることを確認し、専門家の協力を得ることは可能で、より理解を深めることができると考えている。

問 成人教育の中で金融教育を学びたいという声もある。市内で開催している講座はあるのか。

部長 今年度は4つの公民館で、知識レベルに合わせて8講座を実施した。

問 今後、市及び教育委員会はどのような金融

教育を行う場を作っていくのか。

部長 学校教育を基本とし専門家の知見を取り入れ、こどもたちの金融リテラシー^{*6}を育成するための取組を推進する。成人教育では正しい知識と判断力を身につけ、市民の金融リテラシー向上に役立つ講座等を実施していく。

障がい者も健常者も行えるスポーツについて

問 卓球バレーの普及について。

部長 今後、関係団体と協議しながら、毎年11月に開催されている市民レクスポ祭などで紹介する。



問 障がい者にとってウェルビーイング^{*7}とは。

部長 一般的には健康面というイメージであるが、人それぞれ生活の様態は変わっても、幸せを求め続けることは、人にとって平等であると捉えている。

意見 障がい者スポーツの答弁を教育部長が答弁したことは大変意義のあるものだった。



うすい ゆきこ
臼井 由紀子
(つなぐ)

保健福祉
教 育

【放課後児童クラブ】安心して共働きを！

問 放課後児童クラブは近年人材の確保や定着が課題となっているが当市の状況は。

部長 市内のクラブにおいても課題となっている。広報ふじのみや、市のホームページなどに募集記事を掲載したりクラブと連携、協力しながら職員の確保や定着に取り組んでいきたい。

問 支援員にはこどもの健やかな成長をサポートする為の専門性が求められているが、そのための研修は行っているのか。

部長 去年は防犯、それ以前は安全管理、救急救命講習等。今年度はこれから計画する。クラブと連携、相談し内容、回数について検討していきたい。



意見 教育・福祉・地域が連携して放課後の居

場所づくりをどのように推進するのか考えていきたい。

【生涯学習】誰もが学び続けられる環境を！

問 公民館講座をオンライン講座やハイブリッド型講座^{*8}として開催する計画はあるか。

部長 デジタル技術を活用した新たな学びを創出することで市民が多様な交流やつながりを広げていくことが期待できる。今後ダンスや料理講座等、オンラインでの受講可能としたハイブリッド型の講座の実施を目指し方法を研究する。

問 デジタル格差への対応について。

部長 DX^{*9} 推進の一つにデジタルディバイド^{*10}対策を掲げ、スマートフォン教室やデジタルリテラシー^{*6}に関する出前講座や支援を行なっている。しかし、残念ながら格差解消までには至っていない。今後も継続的に教室や講座を続け、国のガイドラインを意識した住民目線のサービス推進をしていく。



いわむら えみ
岩村 恵美
(つなぐ)

産業振興
教 育

食育推進計画推進とフードバレー構想における地元特産品や有機農作物を活用した新たなブランド開発について

問 「地食健身」に基づき、食に関する教育の現状について伺う。

部長 豊かな食資源の活用と将来の富士宮市を担うこどもたちへの食文化の継承は大事な柱であり、小中学校協力の下、「学校給食牛乳講座」や、中学生に対しては、「豚肉講座」、「ニジマス教室」を開催し、座学と富士宮食材を使った調理実習を組み合わせ、食の大切さや地域の恵みを実感できる機会を提供している。

問 試験的に取り組んでいる保育園の有機農産物活用の進捗状況は。

部長 来年の1月及び2月の2回、市内の公立保育園のうち2園でお米と野菜を提供していく



計画となっている。

問 地元特産品や有機農作物を活用した新たなブランド開発について。

部長 現在「特産品開発・付加価値向上等推進事業」により、地場の農産物を活用した特産品開発などに対し、経費の2分の1以内、上限15万円を補助する事業を実施している。これまでにジビエ肉の真空包装機の導入などがある。

保護者の同意のない高額課金トラブルと金融リテラシー^{*6}の教育の推進について

問 関係機関との今後の具体的な連携強化策に関する学校の取組は。

部長 井之頭中学校では、静岡銀行株式会社により、投資の疑似体験を通して現実の社会問題の解決策を考える実践的な学習を行い、金融に関する正しい知識と適切な判断力を養った。

意見 食と経済は、生きていく上で必要不可欠。私たちが育ってきた環境とは、現在はあまりにも異なっており私たち自身、行政も、市長も知識をアップデートしていかなければならない。





すずき ひろむ
鈴木 弘
(至誠)

保健福祉
企 画
教 育

睡眠時無呼吸症候群（SAS）^{※11}の検査推進について

問 市民に対して症状・検査方法・医療機関の情報を発信することについて伺う。

部長 心身の健康を保つために睡眠は欠かせない生活習慣である。睡眠の充足感が感じられない場合は、睡眠時無呼吸症候群などの睡眠障害の可能性がある。市では企業や寄り合い処において、睡眠の質の向上や生活習慣病の予防を目的として「睡眠についての健康教育」を今年度から始めている。そこで睡眠時無呼吸症候群についても周知に努める。また、ホームページや広報紙などでも啓発を進めていきたい。



「富士宮市DX^{※9}推進計画」の取組状況について

問 変化した点を伺う。

部長 オンライン申請や申込み手続きによる申請件数の大幅な増加、庁内1階のキャッシュレス決済の実装による納付手段の拡大と待ち時間の短縮など窓口業務において大きな変化があった。

また、庁舎内でのパソコン利用の汎用性の向上、ペーパーレス^{※12}化推進、会議録の文字起こしにAI^{※1}を活用するなど業務の面でも大きな変化があった。

図書館とその事業について

問 セカンドブック^{※13}プレゼントを行えないか。

部長 セカンドブックプレゼントは、こどもがより多くの本と出合うきっかけになり、また、図書館を身近に感じられることが期待できる。他市の状況を調査し、研究していきたい。



ひらした なおき
平下 尚己
(明和)

総 務

職員のデスクワークによる腰・肩などの健康被害防止及び執務環境改善について

問 職員一人ひとりに合わせて調整可能な昇降デスク・可動式デスク、調整式椅子、モニターアーム・2画面化の導入の考えはあるか。

部長 ペーパーレス^{※12}化進行中の段階のため、更新が必要であるものを除いて、備品のみ更新を先行して行うことは検討していない。

問 長時間の座位姿勢となる職員の健康保持・負担軽減について、1時間に1回程度の立ち上がり・ストレッチ・席変更など、動きを促す職場習慣を庁内に定



着させる考えはあるか。

部長 1時間に1回程度の立ち上がり・ストレッチなどの意識づけや腰・肩などの不調防止・軽減のための方法の紹介など、できることを実施していきたい。また、執務室内の整理整頓や進行中のペーパーレス化とも併せて、職員が心身ともに健康で働ける職場環境の維持・改善にも取り組んでいきたい。

要望 職員が健康で働ける環境は、市民から信頼される市役所の基盤であり、持続的なサービス提供を可能にします。ぜひ、机、椅子等の備品改善にとどまらず、執務環境、働き方、職場習慣を一体的に改善して欲しい。





なかの けんたろう
中野 健太郎
(明和)

市 民

【人口減少】これからの市民活動と自治活動

問 共助には互助の概念も含まれているが、住民による地域への所属意識が低下し、地域住民のみによる互助が弱まっている。地域を守っていくためには、従来型の地域コミュニティでは対応しきれない状況に陥っている。どのような自治活動の将来を想定し、どのような対応が求められていると考えるか。

部長 自治会は市の業務を担っていると言っても過言ではない。人手不足の解消のため、区長会から意見を聴きながら進めていければ。

問 現状の市民活動について、自立的で活発だというのが、NPO等市民活動促進事業、市民活動団体育成補助金の対象となった市民団体は地域、自治活動とのつながりはあるのか。

部長 高齢者の交通安全に取り組む市民活動

団体もある。これをもう少し広く、高齢者の見守りなどにつなげられたらいい。そういう団体は十分一緒にやっていけるのでは。

問 企業に出向いて自治活動の意味や参加促進を促す出前講座、市民団体には積極的に地域と関わっていくことを呼び掛けるような啓発講座を提案する。

部長 大変良い案。積極的にやっていきたい。

副市長 市民団体とも意見を提案し合う、キャッチボールのできる出前講座になるよう制度構築を考えたい。

市区町村が挙げた自治会の課題

1	役員・運営の担い手不足	86.1%
2	役員の高齢化	82.8%
3	近所付き合いの希薄化	59.2%
4	加入率の低下	53.3%
5	行政からの依頼事項が多い	36.2%
6	行事(祭り等)の参加者が少ない	33.6%
7	活動の慣習化	29.2%
8	新旧住民の交流が図りにくい	28.2%
9	活動費の不足	18.9%
10	自治会・町内会会館がない	5.6%

※内閣府が2016年度に1741市区町村を対象に実施したアンケート調査に基づく。1157市区町村が回答。



いなば こうじ
稲葉 晃司
(超党派虹の会)

産業振興

富士宮まつりについて思うこと

問 山車、屋台の全体的な運航は富士宮まつり実行委員会で把握されているのか。

部長 実行委員会で各区の申請を取りまとめ警察に提出し、山車、屋台の運航は実行委員会でしっかりと把握している。また、警察署とも打ち合わせを行い予告看板、迂回路の確認、山車、屋台の規模に伴う隊列の長さ、交通係の配置場所、山車、屋台の目標地点の通過予定時刻等も把握している。

問 面的な規制をかけることによりもっと効率的に警備ができるのではないかと考えた。しかし、それは難しいので、スマホのアプリ等で山車や屋台の動きを市民の皆さんに情報発信することにより視覚的に状況を確認し、混雑を避けて日常生活に支障のない形になれば、市民の皆

さんの富士宮まつりに対する理解も深まるのではないかと。

部長 伝統的なお祭りだが、アプリ等の導入というのは入っていないかなという感じはしている。全国的な祭りの視察なども行い最先端のやり方等を研究しているところであり、観光客、市民、祭りの担当者も活用できるようなものをしっかり研究して実行できればと思う。



議長公務

「富士宮まつり秋宮」が今年も盛大に行われました。宮参りでは、市長、祭典長の皆様と共に、浅間大社境内の舞台に上がり、祭りの成功を願う厳かな儀式に身の引き締まる思いでした。

静岡県無形文化財指定の富士宮囃子、勇壮な山車の競り合い、踊りなど、多くの見せ場があるこの祭りが、未来永劫続くことを浅間大社に祈り、また、祭典区の方のみならず多くの方に協力いただけるよう、市議会も行政と一体となって呼びかけていきたいと思ひます。



2月定例会の予定 2月9日(月)～3月18日(水)

日	月	火	水	木	金	土
2/8	9 開 会 施政方針	10	11	12 議案審議	13 総務文教 委 員 会	14
15	16 環境厚生 委 員 会	17 産業都市 委 員 会	18 議会運営 委 員 会	19	20	21
22	23	24	25	26	27 議会運営 委 員 会	28
3/1	2 代表質問	3 代表質問	4	5	6	7
8	9 予 算 審 査 特別委員会	10 予 算 審 査 特別委員会	11	12	13 一般質問	14
15	16 一般質問	17 一般質問	18 一般質問 議案審議 閉 会	19	20	21

◆定例会開催中以外にも、全員協議会、正副議長・正副委員長会議、会派代表者会議、議会だより編集委員会などが随時開催されています。

◆日程は変更になる場合があるため、間近になりましたら議会事務局にお問い合わせください。TEL:0544-22-1191
インターネット中継でも視聴できます。是非ご利用ください。



議会だより編集委員おすすめ本！

今回は、みんなでビブリオトーク&バトル
実行委員会を取材させていただきました。次
号(6/1発行)もどうぞ期待ください！！



笑顔のために

NO.441 令和8年2月1日発行

【編集発行】議会だより編集委員会

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地
TEL 0544-22-1191 FAX 0544-22-1248
E-mail c-jimu@city.fujinomiya.lg.jp

仲亀恭平 委員長



おすすめの本！

ふくだのぞみ『こめたの ふじのみや みつけた』旅行読売出版社。

富士宮出身の著者だから描ける地元愛満載の絵本。仕掛けを広げると富士山の絶景や美味しい名物が次々に飛出します。地元の良さを再発見できる、大人にも読んでほしい1冊。

おすすめの本！

西鋭夫『改訂版』西鋭夫講演録 新説・明治維新』ダイレクト出版。

私たちが知っている明治維新は本当であるのか。薩摩藩、長州藩に都合よく記されていないか。坂本竜馬の資金源は何だったのか。など明確に書かれている。

村瀬 旬 副委員長



近藤千鶴 委員



おすすめの本！

チャリツモ『大人も子どもも知らない 不都合な数字』フォレスト出版。

数字は社会問題や政治を身近に感じる力があります。問題意識が生まれ、これから未来を築いていく若い人達やより良い社会を残す責任がある大人の方達に読んでほしい本です。

おすすめの本！

黒木安馬『面白くなくちゃ人生じゃない！』KKロングセラーズ。

人生や仕事を楽しむための視点を、軽やかな言葉で伝えてくれる1冊。

前向きな気持ちを思い出し、日常に小さな変化を与えてくれます。

平下尚己 委員



山藤陽子 委員



おすすめの本！

高田郁『あきない世傳 金と銀 源流篇』角川春樹事務所。

「買うての幸い・売っての幸い」人の幸せが商いの中枢。苦難があるたび、人と人の輪をつなぎ、皆で乗り越えていく姿に、「心こそ大切」といつも心に刻む本です。

おすすめの本！

WILLこども知育研究所編著『ぱっと見てわかる！はじめての応急手当③』清水直樹監修、岩崎書店。

突然周りの人が倒れた時あなたならどう対応しますか？心臓マッサージからAEDの使用方法、災害時の応急手当などこどもから大人までわかりやすい優れた絵本です！

稲葉晃司 委員



■編集後記(仲亀恭平委員長)

富士宮の未来「第6次富士宮市総合計画基本構想」への市議会議員22名の考えを徹底特集！また、「わかりやすい議会だより」を目指し、一般質問の用語解説も掲載。市政を身近に感じて下さい。